

# 連合長野

(12月)

2011.12.1  
No.331発行／日本労働組合総連合会  
長野県連合会  
発行人／根橋 美津人〒380-8545 長野市県町532-3 労働会館3F TEL 026-234-1626 FAX 234-1349  
E-mail info@rengo-nagano.jp http://www.rengo-nagano.jp/

復興・再生に全力を尽くし  
働くことを軸とする安心社会につなげよう！

## 第23回定期大会開催！ ～優しさとつながりの労働運動をめざして～

連合長野は、10月28日、メルパルク長野1Fホールで「復興・再生に全力を尽くし、働くことを軸とする安心社会につなげよう」をスローガンに第23回定期大会を開催し、「2012・2013年度運動方針」「役員体制」などを決定した。役員の選出では、中山会長、根橋事務局長、徳武副事務局長を新たに選出、本大会限りで勇退した近藤前会長は顧問に就任した。

開会に先立ち、東日本大震災での宮城県多賀城市からのメッセージや連合ボランティアの活動をまとめた記録映像を放映。そして、参加者全員が、震災で亡くなられた方々に対し黙とうを捧げた。

大会の冒頭、近藤会長の挨拶では、『被災地の人々が、一日も早く普通の生活を取り戻すことこそが不幸にして命を落とされた皆さんの魂を鎮めることになる。復興・再生を全力で支えていくことが、私たちに課せられた第一の課題であることを、全員で確認し合いたい。あわせて、この間の支援行動を通じ、労働運動の本質を再確認した。「地域に根ざした顔の見える運動」の具現化に向けた一歩と捉え、



引き続き一致結束した取り組みをお願いしたい。取り巻く環境は予断を許さないが、人が大切にされる社会・働きがいのある仕事を保障する社会・安心で安全な働きやすい地域社会の構築が、私たちの求める「働くことを軸とする安心社会」の実現につながるとの決意で、具体的な行動をスタートさせたい。私事であるが8年間努めてきた連合会長職を、今期をもって退任する。構成組織・地協をはじめ多くの皆さんに支えられて困難な局面を乗り越えてきた。改めて感謝を申し上げるとともに、新体制への変わらぬご支援をお願いしたい。』と述べ、運動への結集を訴えた。

大会では新年度方針に対し、「この間の運動の総括をしっかり踏まえた運動を」、「エネルギー政策について」、「TPPについて」、「組織拡大に向けた行動について」等の質問・意見が出されるなど、活発な論議が行われた。その後、組織拡大、ディーセントワークの実現、安心社会の構築、地域に根ざした運動への挑戦などの2年間の方針を確認した。

「復興・再生に全力を尽くし、『絆』『つながり』を大切にする社会、『働くこと』に最も価値をおく社会を長野において実現していく」ことなど、目指すべき運動を掲げた大会決議を採択した後、中山新会長による“優しさとつながりの連合長野運動を目指す”決意を込めてのガンバロー三唱で大会を締めくくった。



## <経過報告・運動方針に対する質疑・応答>

(電力総連 小澤代議員)

この度の震災では、多大なご心配とご迷惑をおかけしていることをお詫び申しあげる。現在、電力の安定供給に向け組織の総力をあげ取り組んでいる。引き続き皆さんのご支援・ご協力をお願いしたい。また、連合エネルギー政策PTの論議が開始されるが、私たち働く者の立場の視点で活発な論議となるよう皆さんのご協力をお願いしたい。



(農団労 内村代議員)

- ①TPP交渉参加について、われわれ一番弱い人間の立場に立って行動していく労働組合として、現場をしっかりと認識した行動をすべき。
- ②エネルギーの問題について、長野県や地域対応はどうするのか?といった視点で、連合長野として真剣に考えていくべきなのでは。
- ③重要方針である組織拡大に向けて、新体制の中山会長を支えながら今後しっかりと取り組んでいく。



(自治労 村山代議員)



- ①連合発足から22年目、激動の政治経済の動きの中で連合の果たした役割について、総括は十分できているのか。
- ②エネルギー政策について、連合長野も積極的に国民的議論に参加をし、主体的な見解を述べて国のエネルギー政策の転換のために力を發揮すべきである。
- ③TPP問題について、実態を踏まえて国民的な課題として連合が積極的に世論形成を果たすべき。

(松本広域 進藤特別代議員)



執行委員会での確認に沿い当地協においても対応してきた連合長野推薦議員に対しての協力関係自肅であるが、この間地協として当該議員・事務所との往復論議を繰り返してきている。といった地域での行動も踏まえて今後の対応について、執行部の心広い判断を要望したい。

## <連合長野答弁> (中山事務局長)

(総括と組織拡大)これまでの運動の経過、今後の方針、これから活動のあり方について、一緒に討議をさせていただきたい。どうしたら魅力あふれる組織になるのか?多くの方が加盟をしていただけるような連合長野にするかということを真剣に議論をしていきたい。

(エネルギー政策)いろんな意見をきちんと聞く、最初から賛成・反対といった二項対立での議論ではなく、フラットな立場で認識を深め、様々な意見交換

が出来るような場を設けていきたい。

(TPP交渉参加問題)徹底的な議論をしなければいけないということが大前提。連合本部見解はあるものの、連合長野として現状で端的にこうだと判断できる材料がない。エネルギー政策同様、フラットで認識を深め、意見交換できる場を設定していきたい。

(推薦議員対応について)ご意見やこれまでの経緯を踏まえ、執行委員会で検討していきたい。

はたらく  
みんなの  
ろうきん

長野ろうきん  
イメージモデル  
(暮沼まみ)

はたらくみんなとこれからも

60th Anniversary

おかげさまで、「長野ろうきん」は、  
この冬創立60周年を迎えます。これからも、  
はたらく皆さんと共に歩んでまいります。

R 生活応援バンク  
ろうきん

インターネットでも  
(長野ろうきん)の情報が  
ご覧いただけます。

URL <http://www.nagano-rokin.co.jp/>

検索

ケータイでも  
CHECKできます!

創立60周年  
アニバーサリーキャンペーン  
期間 2011.11/1火～12/30金  
2011 Winter

特典1 期間限定特別金利の定期預金をご用意

特典2 抽選で素敵なプレゼント!  
期間中、各種賞品を抽選でプレゼント。  
抽選で合計1,120名様に当たる!

※詳しい内容は店頭にお問い合わせください。

2011年11月1日現在



## ■退任役員の紹介

会長	近藤 光	JP労組
副会長	奥原 一由	JAM甲信
副会長	高松 和夫	UIゼンセン同盟
副会長	小泉 一夫	JP労組
副事務局長	関澤 一洋	自治労
執行委員	桐原 正幸	UIゼンセン同盟
執行委員	竹前 茂雄	運輸県連
執行委員	山本 一昭	JR総連
執行委員	岩見 嘉郎	農団労
会計監査	中嶋 康夫	化学総連

## ■2012・13年度 役員一覧

会長	中山 千弘	サービス・流通連合
副会長	関 政人	JAM甲信
	中村 明文	自治労
	小池 政和	電機連合
	師玉 憲治郎	UIゼンセン同盟
	泉澤 昭平	電力総連
	原田 幸一	JP労組
	小林 和雄	農団労
	中村 雅代	自治労
事務局長	根橋 美津人	電機連合
副事務局長	徳武 淳	情報労連
執行委員	櫻井 由紀夫	JAM甲信
	高橋 精一	自治労
	伊東 浩	電機連合
	青木 かほる	電機連合
	小林 国由	UIゼンセン同盟
	竹内 靖	電力総連
	松木 ひとみ	電力総連

執行委員	風間 剛	自動車総連
	斉藤 宏和	農団労
	三村 光正	情報労連
	山田 広政	運輸県連
	米持 正道	JP労組
	大久保 真也	JR総連
	若林 茂	私鉄県連
	山下 裕之	サービス・流通連合
	井下 善智	フード連合
	山下 和彦	基幹労連
	芦沢 守	全国一般
	岡宮 得家	全電線
	栗林 正直	印刷労連
	後藤 弘二	森林労連
	矢崎 真治	国公総連
会計監査	塙原 利明	JR連合
	塙原 康之	化学総連
	松井 謙宏	全労金

## 定期大会にて2011年度ふれ愛資金寄付団体に目録を贈呈!

人道主義の立場からの社会貢献活動として構成組織・地域協議会のご協力により善意が寄せられている「ふれ愛資金」ですが、毎年実施要綱に沿ったさまざまな支援活動を行っています。2011年度は東日本大震災や台風被害等への救援・支援や、地域で社会貢献活動を実施している6団体への寄付など、8,755,791円の拠出を行ってきました。

そのうち4団体に対し、第23回定期大会にて目録の贈呈式を行いました。



専門の  
第三者機関による  
住まいの健康診断

# 住宅診断



一般住宅診断 (定価73,500円)  
**63,000 円**  
(税込)

※建物の大きさ、書類の不備等で別途かかる可能性があります。

住まいは、不調であっても、声を出して訴えてはきません。『住宅診断』は住まいの声を聞くことです。あなたのお住まいの声をきいてみませんか?

**長野県労働者住宅生活協同組合** **026-234-0283**  
Fax 026-234-0271

## 政策委員会「連合長野2011政策討論集会」 小畠精武氏が「公契約条例」制定に向けて講演 11月28日、「サンパルテ山王」。地方議員32名とあわせ63名出席

連合長野政策委員会(中村明文委員長)は、11月28日、午後3時から長野市内「サンパルテ山王」で「連合長野2011政策討論集会」を開催した。県議会から16名、市町村議員13名の議員を含む63名が出席した。短時間の内に、第1部「公契約条例との意義と各地の取組み」と題した講演、第2部の「連合長野の政策実現への取組み」討論に続いて、第3部の「連合長野2011地域政策交流集会」と題した懇親会まで、熱のある意見交換が行われた。

### 阿部知事の公約であった「公契約条例」制定

地域が幸せになる“新しい公共”ルール講師、小畠精武氏

「イギリス・アメリカ・フランスの取組みからILO94号条約、日本各地の取組み」詳説

連合長野は、連合の方針や産別地方組織、地域協議会の提起を取り入れ、県庁各行政部局への申入れ「2011県政への要求と提言」、県知事宛申入れ「県政への提言」をまとめて、それぞれから回答を引き出してきた。この集会は、この経緯を、推薦した地方議員に報告し、議会活動に反映してもらうことを目的としている。

前半で、連合が全国の地方連合をあげて中心課題として取り組んでいる「公契約条例の制定」運動についての学習会をおこなった。自治労公共民間労組評議会のアドバイザーでもある小畠精武氏から、20世紀に労働者を動員した戦争の時代の「公契約」を巡る世界の労働運動の歴史とILO条約の成り立ち。現在、日本各地で取り組まれている公契約条例・公契約法制定運動について、多くの資料を基にした説明がされた。



公契約条例の背景を説明する小畠講師

休憩をはさんだ討論では、講演に対する質疑のあと、私鉄県連は「公共交通と地域交通網の維持」、自治労から「介護・育児制度の今後の対応」、農団労から「長野県農業・農村の維持」について、「要求と提言」の周辺についての報告がされ、県議会議員なども発言を行った。

ZENROSAI NEWS



## 「生きるための保障」誕生

安心して生きていく。自分も、家族も。

# こくみん共済

個人定期生命共済・こども定期生命共済・老年定期生命共済・傷害共済・終身生命共済・個人長期生命共済

全労済長野県本部  
026-235-6139

保障のことなら  
**全労済**  
全国労働者共済生活協同組合連合会